

令和5年度

石井中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 創意工夫ある授業づくり
- 家庭学習習慣の定着

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員 (2年学年主任) | 委員 教頭: 教務主任: 学年主任: (1年) (3年) 教科主任

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や生徒・教員へのアンケート等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)  | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し           | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項  |
|--|---|--|-------------------|--|--|
| ○基礎的・基本的事項を理解しようと努める生徒が多い<br>●家庭学習の十分な時間確保には至っておらず、テスト後の復習等の習慣化も図れていない | ・授業に目的意識をもって臨み、学んだことを習熟している<br>・毎日、家庭学習の時間を確保し、予習復習が習慣化している | ・授業の復習となる課題や反復を伴うプリント・ワークを課し、それらの確認を定期的に行う<br>・テスト後の復習の重要性を理解させ、自主ノート等に復習することを習慣化させる | ・これまでの取り組みを継続していく | ・96%の教員が定期的にノートやワーク等を点検し、生徒の学習状況の把握を行った<br>・家庭学習が1時間未満の生徒が42%と、昨年度の48%を下回っており、十分な時間の確保には至っていない | ・家庭学習の習慣化、充実を図ることが大きな課題である<br>・43%の生徒が、テスト後の復習を行っていない。習慣化させている教員は80%と昨年を上回ったが、引き続き、その重要性を理解させ習慣化を図っていく |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)  | 具体的目標(目指す子供の姿)                                     | 具体的方策(教員の取組)  | 中間期の見直し           | 達成状況(評価)  | 次年度における改善事項   |
|---|--|---|-------------------|---|---|
| ○話し合い活動の良さを認識している生徒、考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い<br>●自分の考えや意見を表現することに消極的な生徒が多い | ・言語能力を高めていく<br>表現が工夫できる<br>理由が述べられる<br>思考の過程を説明できる | ・話し合い活動を積極的に設定する<br>・考え方や解き方、根拠を問う問題をテストや課題、制作等に取り入れる<br>・教師の授業力向上を図る | ・これまでの取り組みを継続していく | ・考え方や解き方、根拠を問う問題をテストや課題、制作等に取り入れている教員は96%である<br>・授業中の発表に対して消極的な生徒が28%と昨年度より減少した | ・話し合い活動の良さを実感できている生徒は75%と多く、引き続き、言語活動を充実させる<br>・考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組む生徒も88%と多く、今後も発展学習の充実も図る |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)                                   | 具体的目標(目指す子供の姿)  | 具体的方策(教員の取組)  | 中間期の見直し           | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項   |
|--|---|---|-------------------|--|---|
| ○始業時の着席や授業準備ができている生徒は多い<br>●自ら疑問や課題をもって授業に臨む生徒は少ない | ・始業時の準備を徹底し、授業中のルールを守り、周りとともに学び合える<br>・自ら疑問や課題をもって、主体的に取り組む | ・授業の最初にめあてを提示し、最後にはふり返りを行う<br>・コンピュータ等( ICT )の効果的な活用を図る | ・これまでの取り組みを継続していく | ・94%の生徒が、始業時の着席と授業準備ができていると答えた。<br>・81%の生徒がタブレットコンピュータの活用が学習に役立つと答えた。また効果的な活用を図った教員は64%(昨年度48%)と昨年度を上回った | ・今後も、生徒自らが疑問や課題をもって、主体的に取り組む場面を積極的に設定する<br>・引き続き、タブレットコンピュータの効果的な活用を図っていく |

令和5年度 学力向上ロードマップ

